

「ソーシャルスキルシート」のデータ入力について

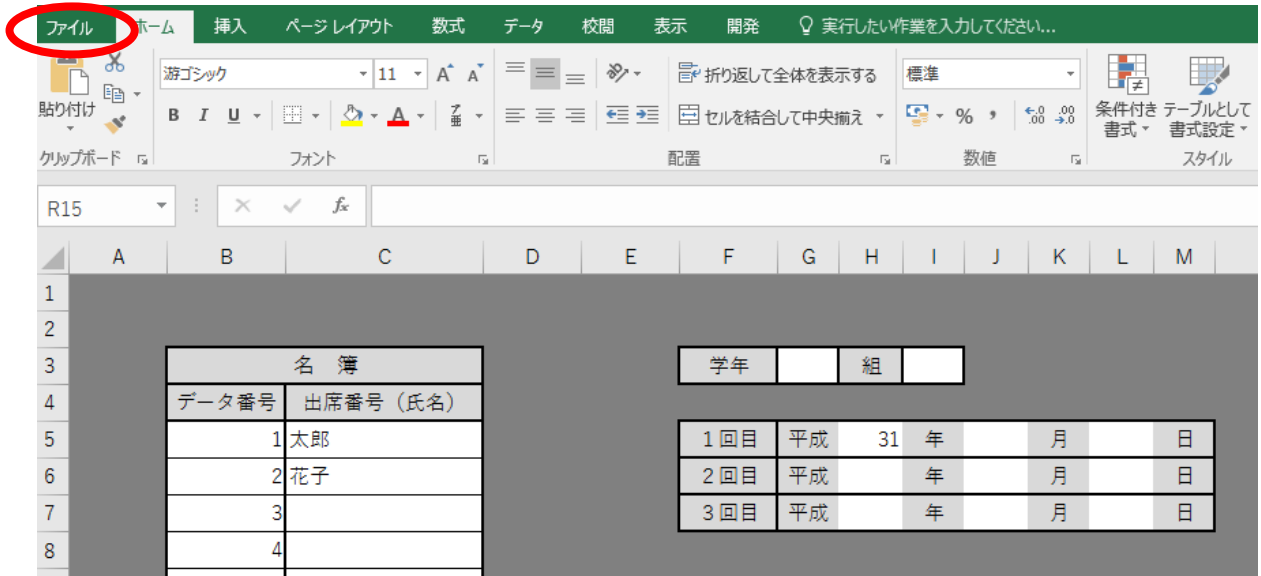
■ 保存

ダウンロードしたら、個別のパソコンに保存名を入力してから保存してください。

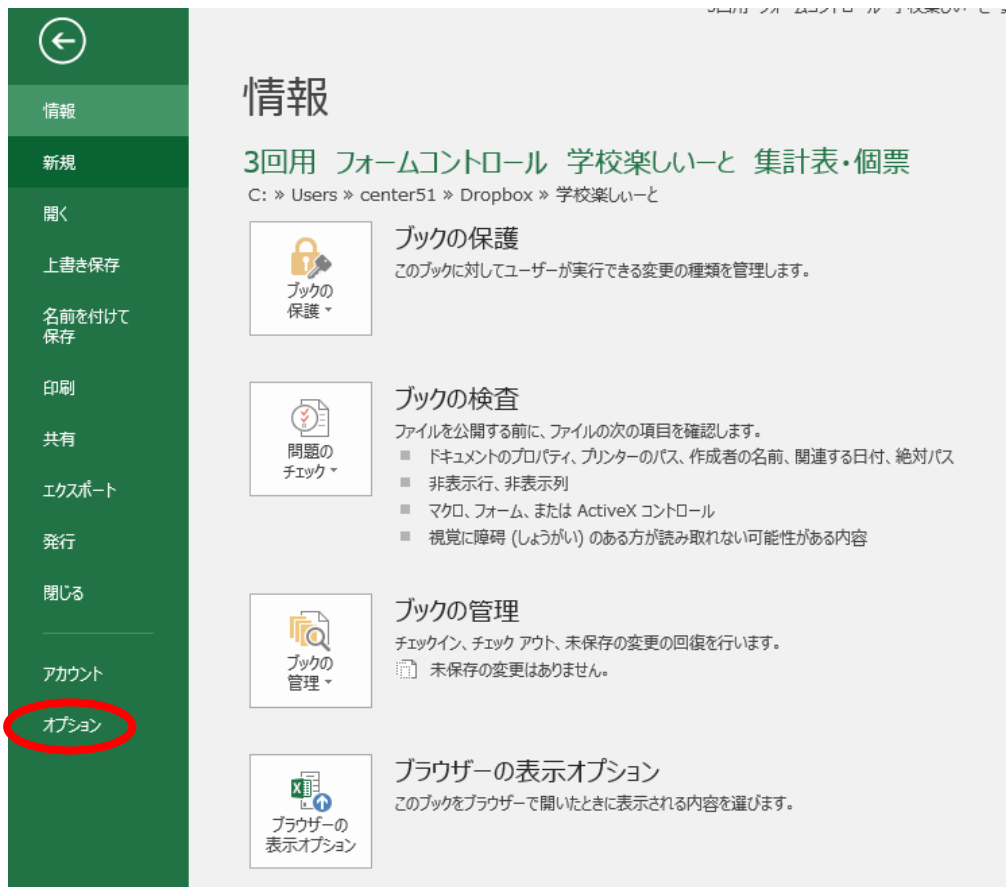
1 マクロの設定

エクセルでマクロを使えるようにするためにはマクロが使えるように（マクロを有効に）設定をする必要があります。※画像は Excel2016 です。

(1) 「ファイル」を選択します。



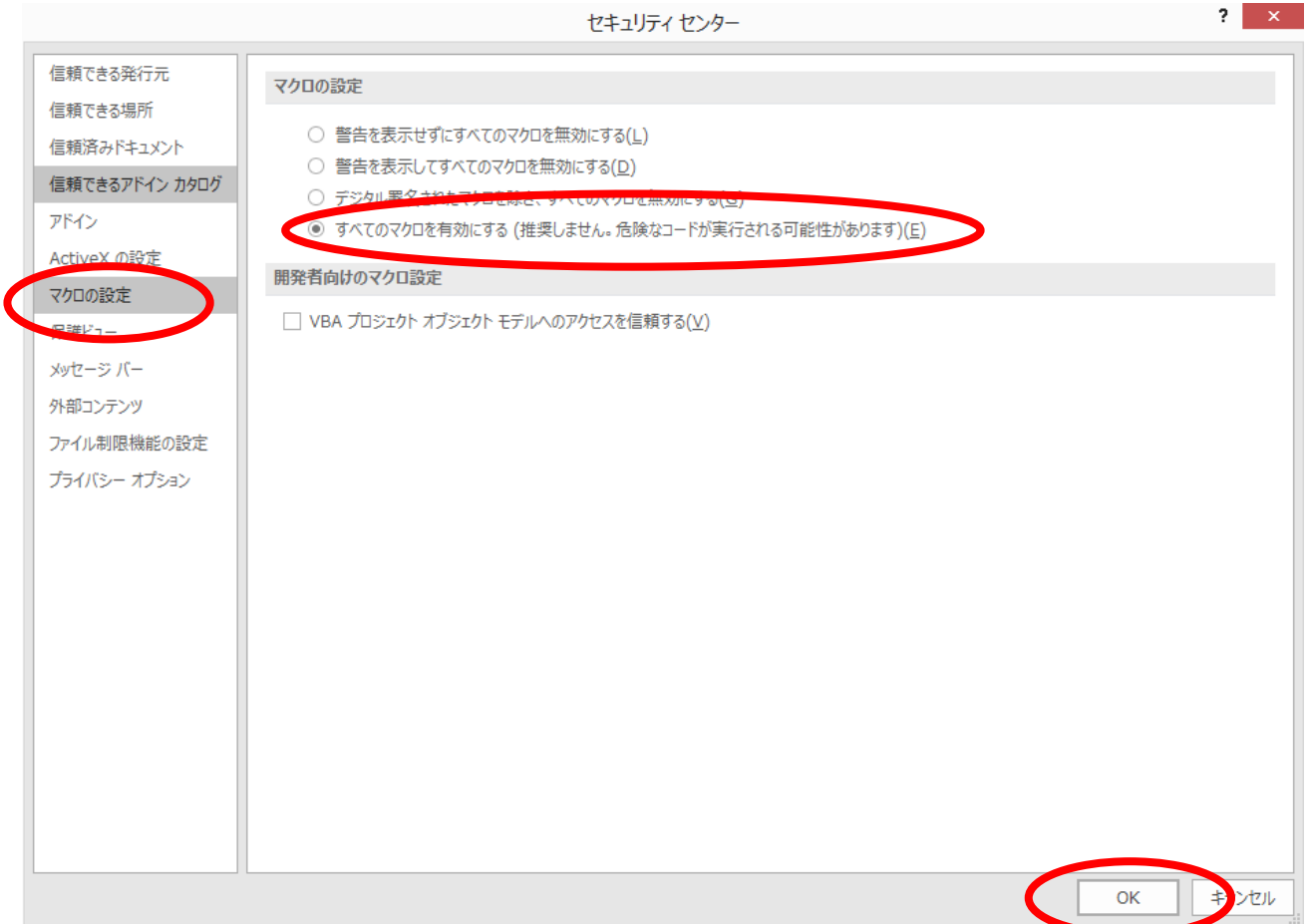
(2) オプションを選択します。



(3) 「セキュリティセンター」の「セキュリティセンターの設定」を選択します。

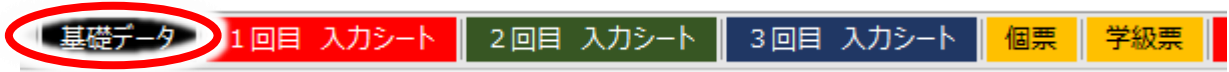


(4) 「マクロの設定」の「すべてのマクロを有効にする」を選択して「OK」を押して終了です。



2 「基礎データ」の入力について

(1) 「基礎データ」のシートを選択します。



(2) 学年, 組を入力してください。

学年	組
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8

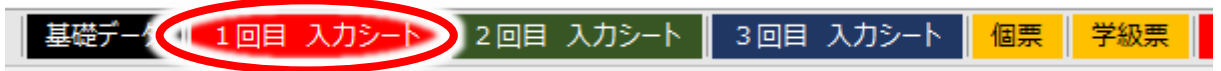
1回目	平成	31	年	月	日
2回目	平成		年	月	日
3回目	平成		年	月	日

(3) 出席番号, 氏名, 性別を入力してください。

(4) 調査を実施した「年」「月」「日」を入力してください。

3 「入力シート」について

(1) 「1回目 入力シート」を選択すると, 以下の画面が表示されます。



(2) 「入力」のシートを選択すると, 以下の画面が表示されます。

1回目 入力シート

データ番号	出席番号 (氏名)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	太郎	2	3	4	3	3	4	4	4	2	3	3	3
2	花子	3	4	3	2	3	3	3	3	3	4	2	2

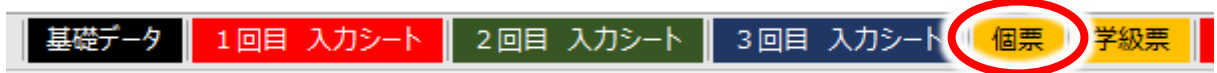
(3) 基礎データがリンクしています。

(4) 個人の回答を見ながら, 選択番号を入力してください。

未記入の場合は「0」ではなく, 入力をしないでください。

4 「個票」について

(1) 「1回目 集計表」のシートを選択すると、以下の画面が表示されます。



(2) 出席番号を指定してください。全てデータはリンクしていますので自動で表示が変わるように設定されています。

ソーシャル・スキル 個票

2年 3組 出席番号 太郎

実施日	平成 31年 5月 17日
実施日	平成 31年 10月 4日
実施日	平成 32年 2月 27日

開始番号 終了番号 開始番号

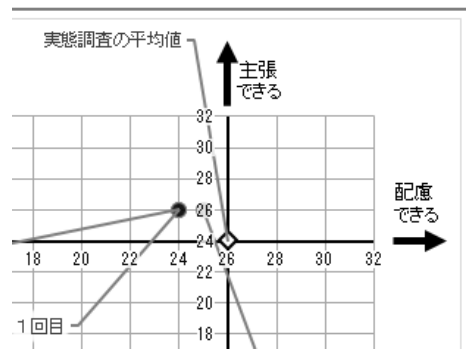
連続印刷 1 3 1

表示したい児童生徒の出席番号を入力してください。

(3) 個別印刷（指定した児童生徒のみの印刷）は、通常の手続きで印刷してください。

(4) 集団印刷（例：出席番号1～40の40人）の場合は、以下のように、開始番号の欄に「1」、終了番号の欄に「40」を入力してから、「連続印刷」のボタンを押してください。

実施日	平成 31年 10月 4日
実施日	平成 32年 2月 27日

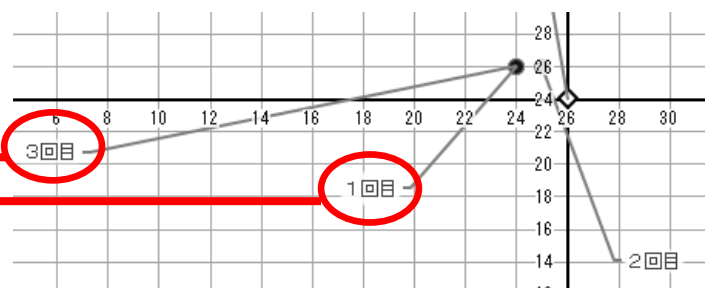


(5) 出席番号の途中がない場合（例1～20, 31～50）は、連続する番号の区分で印刷（開始番号1・終了番号20で「連続印刷」ボタンを押す、開始番号31・終了番号50で「連続印刷」ボタンを押す）をしてください。

(6) 実態調査の平均値を中心としたグラフから、個人の「配慮スキル」と「主張スキル」の値（下位項目の合計値）を相対的に確認できるようにしています。

※ 表示が重なる場合があります。

その際は、動かして調整してください。



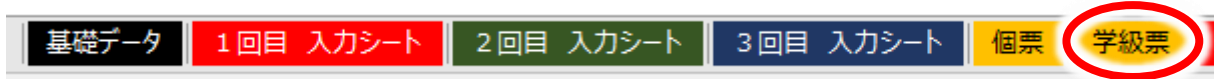
(7) 下位項目は、数値と心情を読み取りやすいように顔の表情で表示するように設定しています。

■ 下位項目の値				■ 下位項目の値					
番号	「配慮スキル」の下位項目	1回目	2回目	3回目	番号	「主張スキル」の下位項目	1回目	2回目	3回目
1	友達が元気のないときは、励ますことができる。	☹️ 2	☹️ 3	☺️ 3	2	相手に聞こえる声で話すことができる。	☹️ 3	☹️ 3	☹️ 2
3	何かを頼むとき、相手の迷惑にならないかを考えることができる。	☹️ 4	☹️ 4	☺️ 3	4	友達に、自分の考えを言うことができる。	☹️ 3	☹️ 3	☹️ 3
5	クラスの人と一緒にいるときは、相手の気持ちを考えることができる。	☹️ 3	☹️ 3	☹️ 4	6	人の意見に左右されないで、自分の考えを言うことができる。	☹️ 4	☹️ 4	☹️ 4

※ 未記入の回答は「0」で計算するために、観点は低くなっていますので注意してください。

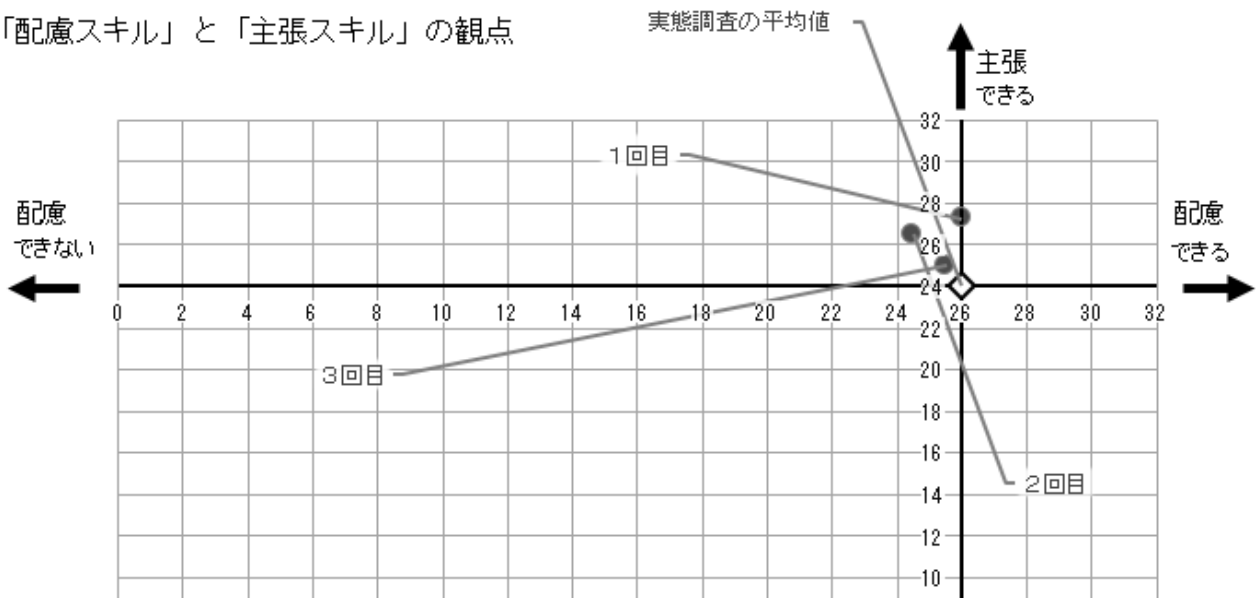
5 「学級票」のシートについて

(1) 「SNS学級票」のシートを選択すると、以下のような画面になります。



(2) 実態調査の平均値を中心としたグラフから、「配慮スキル」と「主張スキル」の学級平均値（下位項目の合計値）を相対的に確認できるようにしています。

「配慮スキル」と「主張スキル」の観点



(3) 下位項目は、学級の平均値が表示するように設定しています。

■ 下位項目の値				■ 下位項目の値					
番号	「配慮スキル」の下位項目	1回目	2回目	3回目	番号	「主張スキル」の下位項目	1回目	2回目	3回目
1	友達が元気のないときは、励ますことができる。	2.5	3.5	3.5	2	相手に聞こえる声で話すことができる。	3.0	3.5	2.5
3	何かを頼むとき、相手の迷惑にならないかを考えることができる。	3.5	3.0	3.0	4	友達に、自分の考えを言うことができる。	2.5	3.0	2.5

6 「集計表」のシートについて

(1) 「1回目 集計表」のシートを選択すると、以下の画面が表示されます。



(2) 逆転項目はありませんので、「入力シート」のデータがそのまま表示され、「配慮スキル」と「主張スキル」に関する各項目の合計が表示されるようになっています。

データ番号	出席番号 (氏名)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	観点	観点	
		友達が出来ないときは、一人で話さずことができます。	相手に聞こえる声で話すことができます。	相手に聞こえない声で話すことができます。	何かを頼むとき、相手の注意を引くことができます。	友達と一緒に、自分の考えを言うことができます。	クラスの人と一緒にいるとき、相手の気持ちを考えていることができます。	自分の考えを言うことができます。	人の意見に左右されず、自分の考えを述べることができます。	友達と話し合えることができます。	必要なときは、自分から友達にお願いすることができます。	話し合えるときは、相手の気持ちを考えながら話すことができます。	話し合えるときは、自分と友達に異なる意見があることを話し合えることができます。	話し合えるときは、自分と友達の考えを言うことができます。	グループの人たちの前で自分の考えを言うことができます。	友達の話は、声やかきさねないで聞くことができます。	友達の話を、途中でかきさねないで聞くことができます。	自分の意見が通っても、自分の意見を言うことができます。	友達が仲間になったように感じることがあります。	クラスの人たちの前で自分の考えを言うことができます。
1	太郎	2	3	4	3	3	4	4	4	2	3	3	3	2	4	4	2	24	26	
2	花子	3	3	3	2	3	3	3	3	3	4	2	2	3	4	3	3	23	24	
45	4の選択者			1			1	1	1		1				2	1				
	3の選択者	1	2	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1		1	1			
	2の選択者	1			1					1		1	1	1			1			
	1の選択者																			
	合計	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	43	43	
	全体平均	2.5	3.0	3.5	2.5	3.0	3.5	3.5	3.5	2.5	3.5	2.5	2.5	2.5	4.0	3.5	2.5	23.5	25.0	

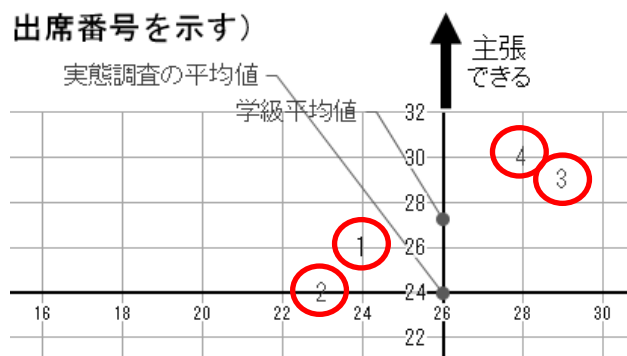
集計表の下部に、「1」～「4」の各選択者数、合計（回答者数）、全体平均を確認できるようになっています。

7 「学級散布図」のシートについて

(1) 「1回目 学級散布図」のシートを選択すると、以下の画面が表示されます。



(2) 学級の各個人のデータが出席番号で表示されるように設定しています。ただし、同じデータの場合、重なって表示されますので御了承ください。



■ シートは保護していますので、マクロや数式の変更はできません。

設定や操作については、鹿児島県総合教育センター教育相談課にお問い合わせください。

TEL 099 (294) 2788